早稲田大学
インキュベーションセンター
無線 LAN 利用マニュアル
Ver. 2. 0

2011 年 7 月

早稲田大学
インキュベーション推進室

※インキュベーションセンターでご利用いただける無線 LAN サービスは、早稲田大学で利用できる「学内無線 LAN」とは別のものです。ご利用の際には、所定の手続と設定が必要になります。
※申込みに必要な手続きの手順を事前に確認し、誓約書のご用意と利用届の提出を行ってから、お申し出ください。内容をご確認いただけない場合、書類をご提出いただけない場合は、利用できません。
※センターにて確認している無線機器環境はごく限られています。事前にこのマニュアルをお読みいただき、ご利用を希望される機種の対応状況等についてご確認のうえ、ご利用ください。情報管理を適切に行うため、インキュベーション推進室では、個別の設定は行っておりません。

目　次

ワイヤレスで、ネットワークに常時アクセス！

１．無線 LAN サービスの概要

早稲田大学インキュベーションセンターでは、センター入居者とインキュベーションコミュニティ会員を対象とした無線 LAN サービスを無料でご提供します。ビジネス用のツールとして、ぜひご利用ください。

インキュベーションセンターでは、インキュベーションセンター個室オフィス入居者（以下、「入居者」）およびインキュベーションコミュニティ会員（以下、「会員」）を対象として、センター内における無線 LAN サービスを無料にて提供します。

なお、このサービスは、早稲田大学がキャンパス内で提供している学内無線 LAN とは別のものです。ご利用にあたっては、所定の手続と設定が必要です。また、利用資格も学内無線 LAN とは異なりますので、ご注意ください。

（１）ご利用になれる方（有資格者）

無線 LAN サービスをご利用になれるのは、以下のいずれかの方です。

・入居者のうち、カードキー被貸与者で、所定の届出を行った方。
・会員のうち、カードキー被貸与者で、所定の届出を行った方。
・その他、インキュベーション推進室長が特に認めたうえで、所定の届出を行った方。

【ご注意】以下の方は、ご利用になれません。ご了承ください。
・入居者のメンバーで、カードキーをお持ちでない方。
・会員のメンバーで、カードキーをお持ちでない方。
・入居手続きや入会手続きが完了していない方。
・その他、入居者や会員でない早稲田大学の教職員、学生など。
・外部から来られるお客様など。
【ご注意】会員の場合、センターに入れる（カードキーを貸与される）のは最大 2 名ですので、無線LAN をご利用いただけるのも最大2名となります。入居者の場合は人数の制限はありません。

（２）ご利用いただける機器（対応機器）

一名につき、あらかじめ登録していただいた通信端末（機器）を 1 台、ご利用いただけます。取り外しができる無線 LAN 端末（USB 接続タイプ、PC カードタイプなど）の場合は、

その端末を登録していただければ、任意のPCなどに接続してご利用いただけます。
　基本的に、以下の条件を満たしている機器であれば、ご利用になれます。ハードウェア（ノートPC、タブレット端末、スマートフォンなど）、OS（Windows、Mac OS、Linux、Android など）は問いません。
　なお、個々の無線 LAN 端末について動作確認を行っているものではないため、以下の条件を満たしていてもご利用いただけるとはかぎらず、また動作保証を行うものではありません。あらかじめご了承ください。

＜対応条件＞
・IEEE802.11g（またはIEEE802.11n）に対応していること。
・WPA2-PSK（AES）に対応していること。
・日本国内での使用を前提に製造された製品であること。

【ご注意】高度なセキュリティを確保するため、WPA2-PSK（AEP）で暗号化通信を行っています。このため、非対応の機種（WPA-PSK、WEP のみ対応の機種など）ではご利用できません。ご使用の機器がWPA2-PSKに対応しているかどうかについては、製品付属のマニュアルなどであらかじめご確認ください。
【ご注意】日本国内での使用を前提としていない無線LAN機器（外国仕様の機器を現地購入ないし個人輸入して取得したものなど）をご利用になると、正常に通信できない場合があるだけでなく、電波法に違反するおそれがあります（罰則あり）。必ず、日本国内での使用を前提とした機器をお使いください。

（３）ご利用いただける範囲など

　無線 LAN での通信は高度な暗号化を施しているため、通信が行われた際にデータが傍受されたとしても、そのデータが解読されることは現状では考えにくく、高いセキュリティを実現しています。Webページの閲覧や電子メールの送受信、FTPはもちろん、電子商取引など高いセキュリティを要するご利用も可能です。
　なお、学内ネットワークとは独立した回線なので、Waseda-net ファイルズなど、学内のみのコンテンツにはアクセスできません。また、VPNクライアントも不要です。

①ご利用可能なエリア
　インキュベーションセンターのオープンスペース、会議室、シェアードブース、コラボレーションスペース、個室オフィスなど、センター敷地内で電波が届く範囲内で利用できます。ただし、コラボレーションスペースや個室オフィス（スモールオフィス含む）では、鉄筋コンクリートを途中にはさんでしまうため電波が届きにくいと思われますので、ご利用できない可能性がございます。あらかじめご了承ください。電波状況については、イン

キュベーション推進室事務所備え付けのノートPCにて確認できますので、事務所までお申し出ください。
【ご注意】屋外での利用も、電波が届く場合であれば可能です。ただし、ご利用はインキュベーションセンター敷地内にてお願いいたします。

②利用可能なプロトコル（通信手順）

メール（POP、SMTP等）の送受信、Webの閲覧（HTTP）、FTPをご利用いただけます。プロキシは設定しておりません。

違法なファイル交換を目的とするP2Pソフト（WinMX、Winny、Share、Cabosなど）の利用は、実験目的を含め全面的に禁止します。

BitTorrentなど、合法的な範囲内でファイル交換を目的としたP2Pソフトを利用したい場合は、帯域幅の調整もありますので、推進室事務所まで事前にご相談ください。

【ご注意】Skypeなど、P2Pを用いた動画・音声送信サービスのご利用は基本的に可能ですが、推進室事務所まで事前にご相談ください。なお、無線LANを利用する場合に限りませんが、音声通話をする際には、ほかの利用者へのご配慮をお願いいたします。

利用するのに必要な書類はコレ！

2．無線 LAN サービス申込み手順

無線 LAN サービスをご利用いただくにあたっては、「誓約書」と「無線 LAN 設備利用届」をご提出いただく必要があります。ここでは、申込みの手順についてご説明します。

（1）必要書類

無線 LAN サービスをご利用になる際には、「誓約書」と「無線 LAN 設備利用届」の 2 種類の書類をインキュベーション推進室までご提出いただく必要があります。

利用誓約書 → 署名・押印のうえ**書類を事務所へ直接提出**

設備利用届 → 所定事項を記入し**電子メールで提出（紙は不要）**

（2）無線 LAN 利用誓約書

「免責事項」と「禁止事項」をご確認いただいたうえで、所定の「無線 LAN 設備利用誓約書」（会社等ごとに 1 枚）をご提出いただきます。

誓約書の文面について了解いただき、利用される際には、署名押印のうえ、書類をインキュベーション推進室事務局まで書類を直接ご提出ください（郵便や宅配便、学内便などによる提出も可能です）。代表者本人の署名および押印（個人印で可、シャチハタ印でも可）が必要です。

誓約書は、一度お出しいただくだけでけっこうです。実際に無線 LAN サービスをご利用になる人が変わったり増減があったりした場合、入居者および会員の名称や代表者が変更になった場合、会員が入居した場合なども、企業等としての一体性が維持されているかぎり、再提出の必要はありません。

（3）無線 LAN 設備利用届

「無線 LAN 設備利用届」（会社等ごとに 1 枚）の Excel ファイルに所定事項を記入のうえ、以下の送信先までご利用の前に電子メールでご提出ください。紙は不要です（記入の際に誤記があると再設定が必要となるため、電子データでの提出にご協力ください）。

なお、いったん登録されたのち、端末情報などを変更する場合には修正申請が必要となるので、送信時の Excel ファイルはお手元にて保存してください。ワークシートにて履歴

を残しておくと管理がしやすいかとも思います。

送信先：inc@list.waseda.jp 早稲田大学インキュベーション推進室事務所宛

ご利用希望当日に直接センターにて利用届提出を希望される場合、事務所の業務状況により設定をお待ちいただくことがあります。また、この場合は無線 LAN が使えず電子メールでの提出ができず、当方で手入力による設定を行うことになります。誤りを防ぐためにも、入会申込み時あるいは無線 LAN サービス利用決定時など、早い段階でご提出ください。新規入会の場合など、誓約書の前に利用届を先行して提出いただいてもけっこうです（ご利用は誓約書提出後になります）。

無線 LAN 設備利用届のご記入方法は、以下のとおりです。なお、無線 LAN 設備利用届は Microsoft Excel 形式になっています。Excel 環境のない方は、推進室事務所までご相談ください。

①「無線 LAN 設備利用届」に、1 シートにてご記入ください。

※セルの横幅が狭く表示しきれない場合でも、列の幅は変更せず、そのままご記入のうえ提出してください。

※「ID」「事務局記入欄」は、空欄のままにしてください。

※個室オフィス入居者で利用者が多数の場合は、適宜行を増やしてください。

※コミュニティ会員は、利用者数は 1 会員につき 2 名までなので、行の数を増やさないでください。

②「入居者名」または「会員名」欄にご記入ください。

③「利用者名」にご記入ください。ここには入居者または会員のうち、入退館に必要なカードキーの被貸与者（センターに出入りできる方）のみをお書きください。
④「申請日」欄に、提出日（電子メールの送信日）をご記入ください。
⑤「製品名・機種名」をご記入ください。「製品名・機種名」には、PC などであればそのメーカー名、機種名と型番を、取り外し可能なアダプタであればそのメーカー名、機種名と型番をお書きください。

例　Acer Aspire one 532h（ノートPC の場合）
　　SHARP AQUOS PHONE 006SH（スマートフォンの場合）※通信事業者名は不要です
　　PLANEX GW-US54GXS（取り外し可能なアダプタの場合）

⑥使用される機器の MAC アドレス（無線 LAN 用のもの。16 進数、12 桁）をご確認のうえ、「MAC アドレス」にご記入ください。MAC アドレスについては、下記「MAC アドレスの調べ方」をごらんください。
⑦記入したデータのExcel ファイルを、以下まで電子メールにてお送りください。

送信先：inc@list.waseda.jp 早稲田大学インキュベーション推進室事務所宛

利用者、使用端末などを変更する場合は、提出された利用届の該当部分を赤字で修正のうえ、Excel ファイルを電子データで事務局担当者までお送りください。変更回数や期間の制限はありませんので、複数の端末をご利用の場合、ご利用の都度変更いただくことも可能です。

この場合も、センターでの当日の変更は極力ご遠慮ください。

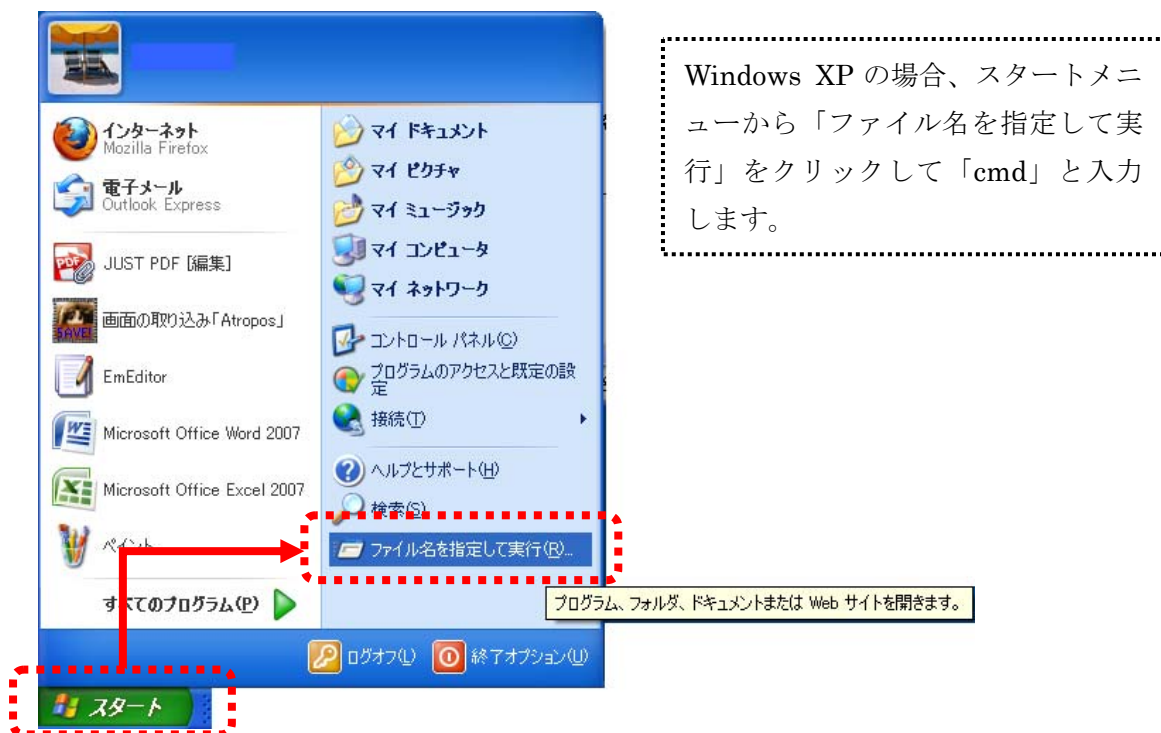
ご参考　**MAC アドレスの調べ方**

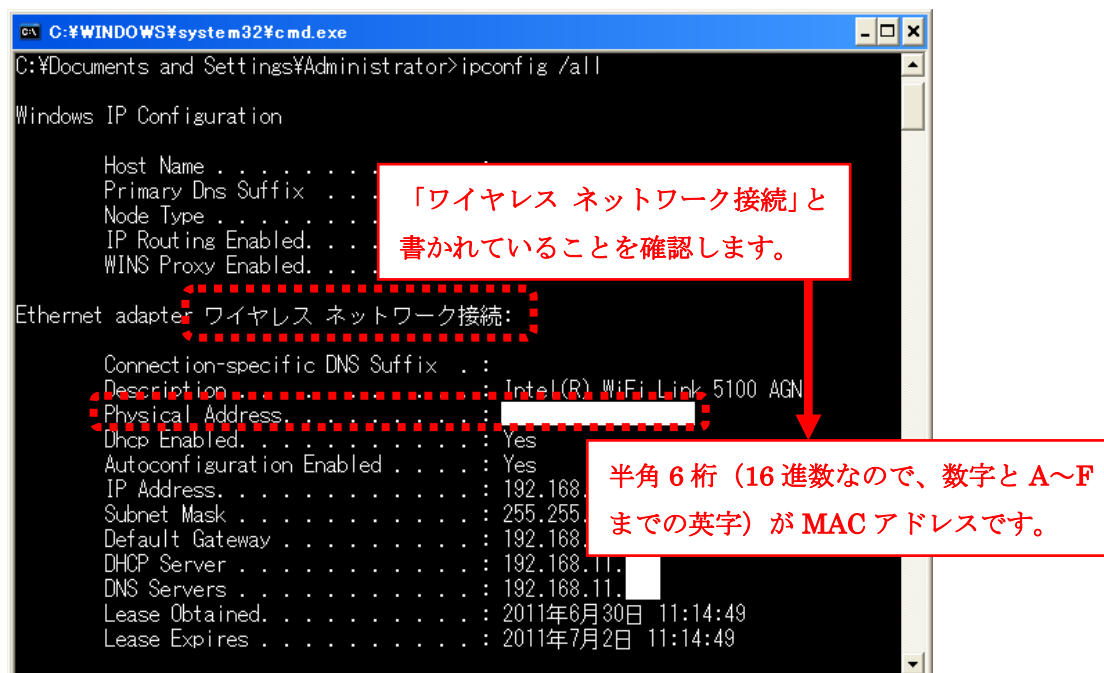
MAC アドレスの調べ方は、以下のように行います。なお、それぞれの OS のバージョンや機種によってメニュー表記などが多少異なる場合がありますので、表示が一致しない場合は、適宜読み替えてください。

これ以外の機器については、各端末に付属のマニュアルなどでご確認ください。MAC アドレスが、製品付属のマニュアルや機器に貼ってあるシールに記載されている場合もあります。

なお、同一機種に無線 LAN と有線 LAN のアダプタが複数ある場合、MAC アドレスが複数表示されることがあります。アドレスが複数表示されている場合、どれが無線 LAN のものかを確認してください。

・WindowsXP の場合（Administrator で実行します）
①スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選び、「cmd」と入力して「OK」をクリックするとコマンドプロンプトが起動します。スタートメニューから直接コマンドプロンプトを起動しても OK です。

Windows XP の場合、スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックして「cmd」と入力します。

②「ipconfig /all」(ipconfig、半角スペース、半角スラッシュ、all の順)を入力して Enter キーを押します。

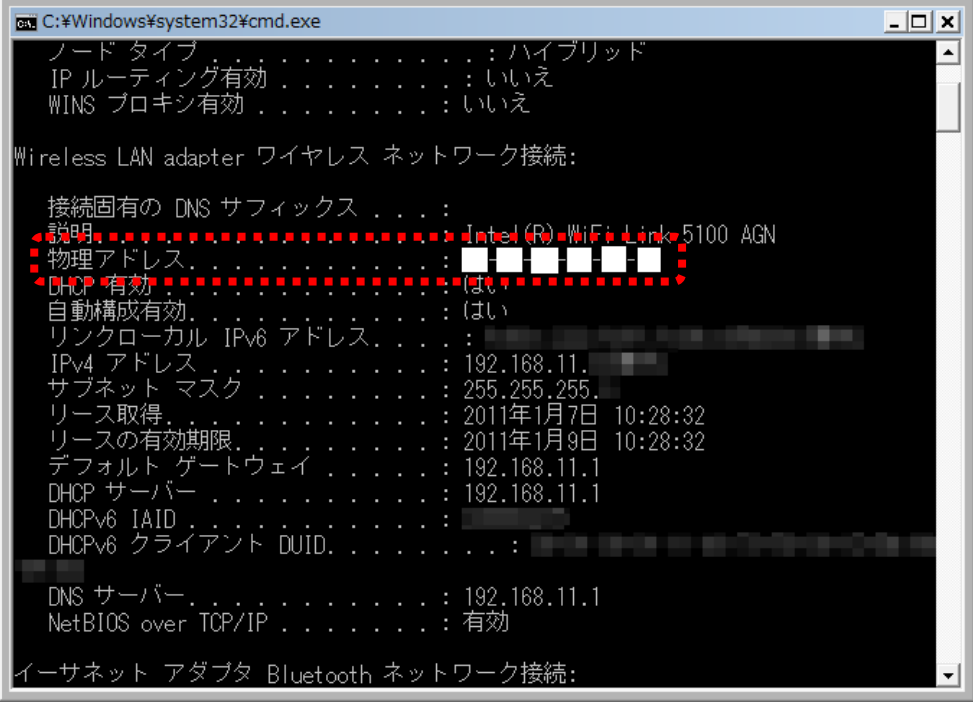
③「Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の中にある、「Physical Address」の行に書いてある文字列(16 進数)が MAC アドレスです。

※同一機種に無線 LAN と有線 LAN のアダプタが両方ある場合など、区別をつけにくい場合は、ワイヤレスネットワーク接続のプロパティから物理アドレスを調べることもできます。

※「ipconfig /all」で画面が流れてしまい無線 LAN アダプタの情報が見えない場合は、「ipconfig /all | more」(/all、半角スペース、半角パイプ、半角スペース、more の順)と入力してください。まず画面の枠内に表示できる範囲の情報のみが表示され、次いで Enter キーを押すごとに次の情報が表示されます。|(パイプ)は通常のキーボード配列の場合、Shift キーを押しながら¥キーを押すと入力できます。

④コマンドプロンプトの画面上の任意の場所を右クリックして「範囲指定」をクリックします。

⑤MAC アドレスの部分をドラッグして Enter キーを押します。

※「Ctrl」+「C」は無効です。

⑥利用届を開き、所定のセルを選択して「Ctrl」+「V」を押すことで、MAC アドレスがコピーされます。

※④～⑥は、コマンドプロンプト上のテキストをコピーアンドペーストする際の一般的な手順です。

・WindowsVista/7 の場合（Administrator で実行します）

①スタートメニューすぐ上の部分に「cmd」と入力して「OK」をクリックするとコマンドプロンプトが起動します。スタートメニューから直接コマンドプロンプトを起動しても OK です。

②WindowsXP の②と同様に、「ipconfig /all」を実行します。

③「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の中にある、「物理アドレス」の行に書いてある文字列(16 進数)が MAC アドレスです。

・Macintosh の場合（OS X 以降）

①「アップルメニュー」から「システム環境設定」を選択します。

②「システム環境設定」から「ネットワーク」をクリックします。

③「設定」で使用しているネットワークインターフェイスを選択します。

④Ethernet アドレスの行に書いてある文字列(16 進数)が MAC アドレスです。

・Linux の場合(スーパーユーザで実行します)

※Ubuntu10.40 GNOME のものです。

①メニューの「システム」から、「システム管理」→「ネットワーク・ツール」を起動します。

②「ネットワークデバイス」で無線を選択します。

③「ハードウェア・アドレス」で表示される文字列(16 進数)が MAC アドレスです。

※Linux では「iwconfig」コマンドで調べることもできます。Windows とはコマンドの綴りが違うのでご注意ください。

・Android 搭載スマートフォンの場合

①ホーム画面でメニューボタンを押します。

②「設定」をタップして「端末情報」をタップします。

③「端末の状態」をタップすると、「Wi-Fi MAC アドレス」欄が表示されます。

動きがあったらこうして！

3．変化があったときの手続方法

無線 LAN サービスをお申し込みいただいたあと、何らかの変化があった場合の手続きについてご説明します。

無線 LAN サービスをご利用開始後に変化があった場合、手続が必要になる場合があります。

（１）設備利用届記載事項に変化があった場合

「設備利用届」の記載事項（利用者、機械、MAC アドレス）に変更があった場合は、該当する部分を赤字で修正のうえ、Excel データを推進室事務所までお送りください。登録した端末情報を事務所にて修正いたします。提出回数の制限などはございませんので、変化がありしだい、随時ご連絡ください。なお、入居者名および会員名が変更になったのみなど、利用実態に変更がない場合は、そのままご利用ください。

誓約書を再提出していただく必要はありません。

（２）入居者から会員になった場合

おそれいりますが、「設備利用届」に再度ご記入のうえ、Excel データを推進室事務所までお送りください。前回の登録内容を抹消のうえ、新たに端末情報を登録いたします。

誓約書を再提出していただく必要はありません。

（３）会員から入居者になった場合

「設備利用届」の様式が変更になりますが、利用者および端末が従来どおりである場合は、特にお手続きは必要ありません。利用者が増加した場合などは「設備利用届」を再度ご提出いただくことになります。詳細は、推進室事務所までお問い合わせください。

誓約書を再提出していただく必要はありません。

（４）オフィスを退去または退会した場合

特にお手続きは必要ありません。退去日または退会日をもって、ご利用の端末情報を抹消します。

4. 一般的な無線 LAN 接続方法

インキュベーションセンターの無線 LAN サービスでインターネットに接続する方法について、一般的な端末を例にしてご説明します。

「利用誓約書」と「設備利用届」をご提出いただき、ご利用になる端末の登録が完了すれば、推進室事務所にて「暗号化キー」をお教えしますので、これを入力することで無線 LAN が利用できるようになります。

一般的には、暗号化キーはいったん入力すると、次回以降は自動で通信が行われ、無線 LAN を利用できるようになります。

ここでは、一般的な端末を例にして、OS の標準的な機能を用いてインキュベーションセンターの無線 LAN に接続するための方法について説明します。無線 LAN 接続機器メーカー製のユーティリティソフトなどをご利用の場合は、当該ソフト付属のマニュアルなどをご確認のうえ設定をお願いします。

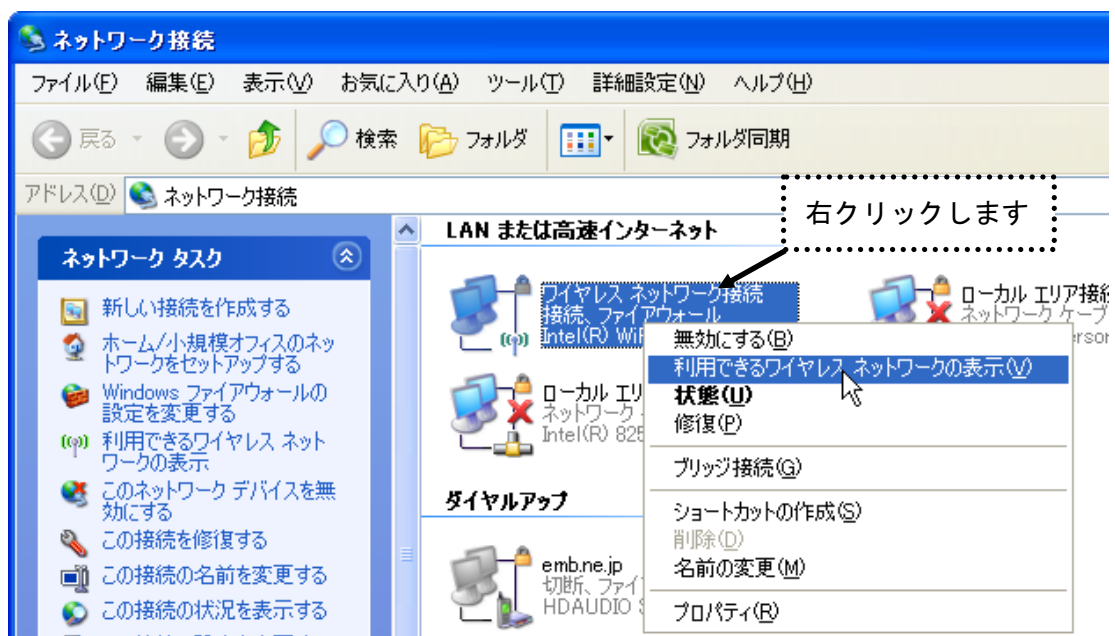
※ここでの記述は、あくまでも一般的なものです。PC の製造元やメニュー表示設定、インストールされているアプリケーション、動作しているサービスやデーモン、無線 LAN 端末のファームウェアバージョン、OS のアップデートなどによって違いが生じる可能性があります。また、Windows でスタートメニューの表示をクラシック表示にするなど、メニュー表示方法を変更している場合、手順が異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

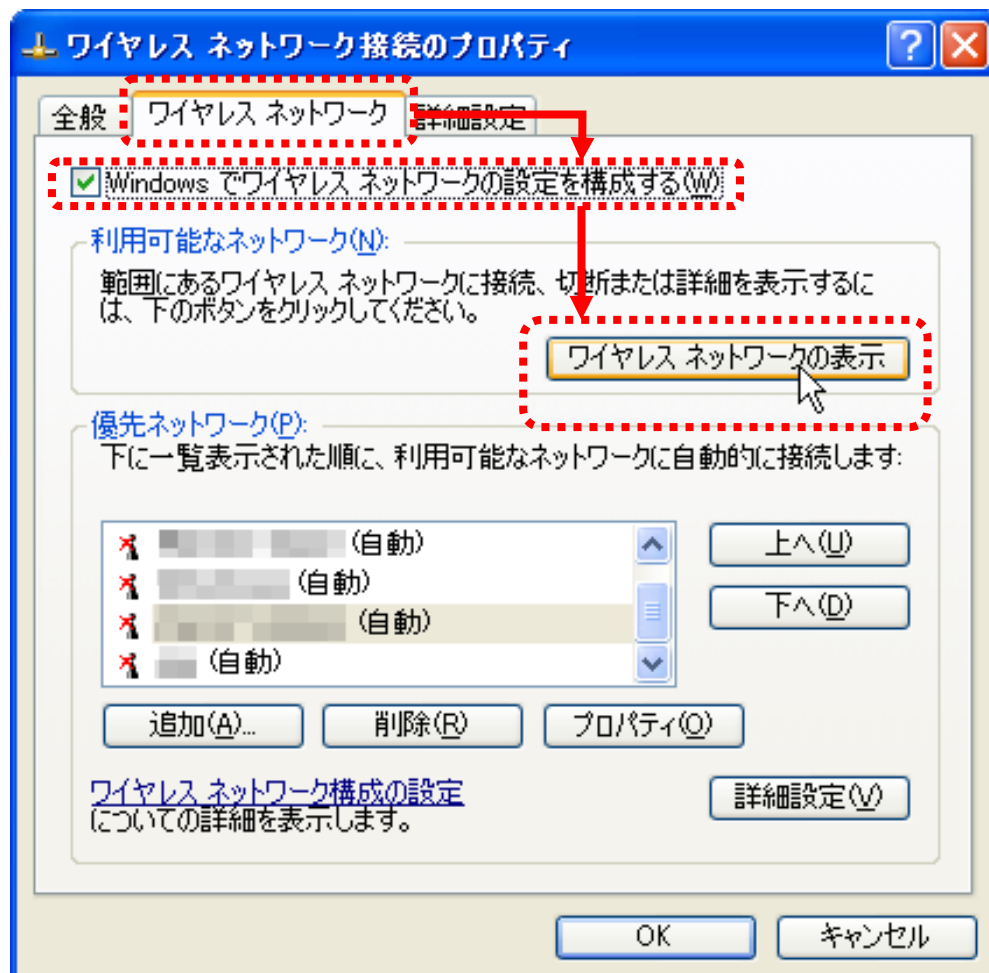
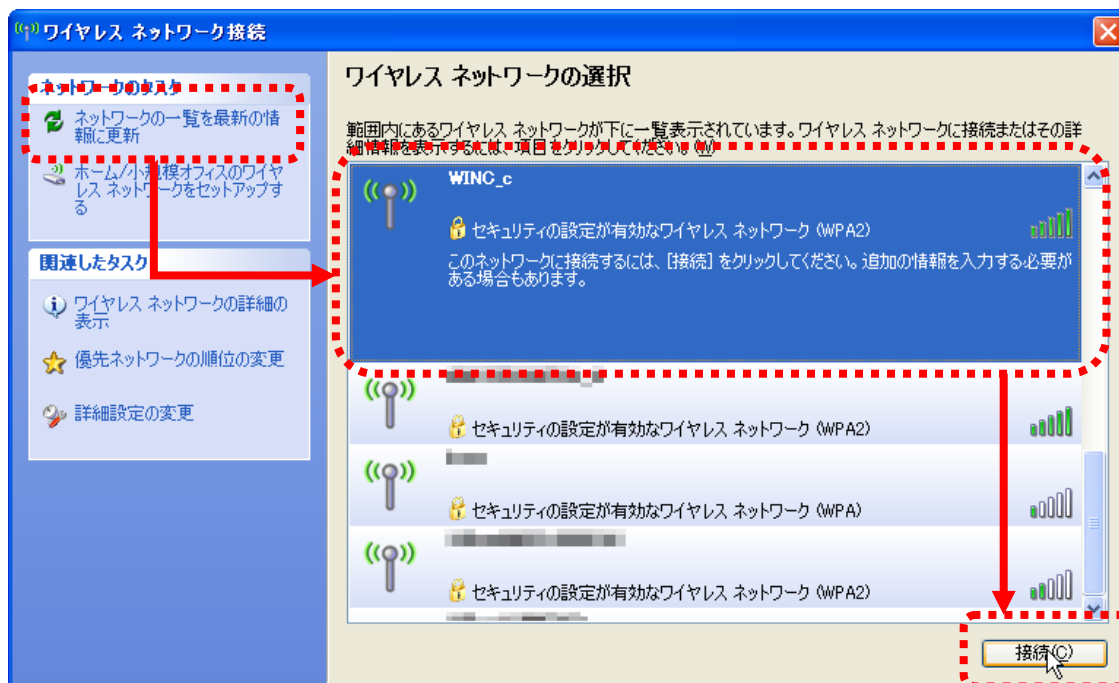
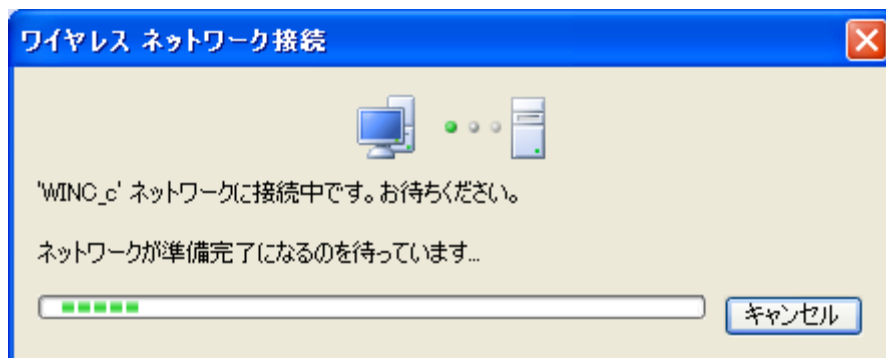
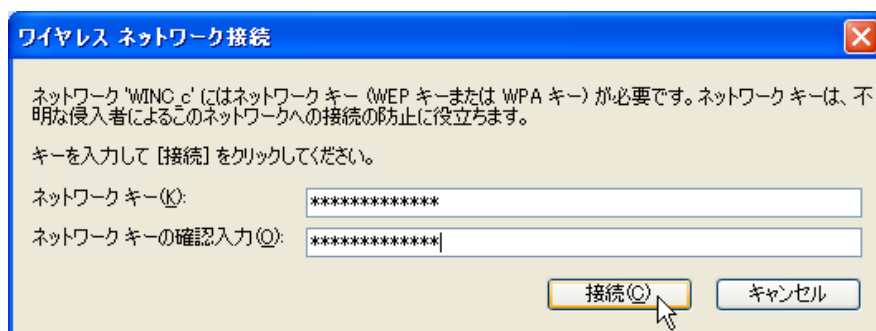
【ご注意】Windows 2000 および Windows XP Service Pack2 以前では、無線 LAN に接続しないでください。これらの OS でも、修正プログラムを適用することにより、インキュベーションセンターで提供している無線 LAN に接続すること自体は可能ですが、2010 年 7 月 13 日までにマイクロソフトの延長サポートフェーズが終了しており、脆弱性に対するセキュリティ更新プログラムの提供も終了しています。このため、脆弱性が発見されたとしてもそのままになっています。この結果、ウイルス感染や情報漏洩のリスクが極めて高くなるほか、同じネットワークに接続している他の PC などにも危険が及ぶ可能性があります。これらをお使いの場合は、新しい PC などに買い換えるなどの対策を取るか、ネットワークから切り離して個別に利用するようにしてください。

[1] Windows XP Service Pack 3 を使用する場合

「ワイヤレスネットワークの選択」の中に「WINC_c」があるので、これを選択して接続してください。暗号化キーは、一度入力すれば次回以降は保存されます。

①スタートメニューから「接続」→「すべての接続の表示」をクリックします。

②「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックします。「利用できるワイヤレスネットワークの表示」が表示されたらクリックし（⑤へ進みます）、表示されない場合は「プロパティ」をクリックします（③へ進みます）。

③「ワイヤレスネットワーク」タブを開き、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを入れます。

④「ワイヤレスネットワークの表示」をクリックします。

⑤左ペインの「ネットワークの一覧を最新の情報に更新」をクリックしてから、「ワイヤレスネットワークの選択」から「WINC_c」をクリックし、右下の「接続」をクリックします。

⑥「ワイヤレスネットワーク接続」ダイアログボックスが表示されるので、「ネットワークキー」に所定の暗号化キーを入力して「接続」をクリックします。大文字と小文字は区別されるので注意してください。

⑦通知領域に表示されるアイコンの赤い×印が消えれば、接続設定は完了です。

[2] Windows Vista を使用する場合

基本的に、Windows XP SP3 とほぼ同じ手順です。暗号化キーは、一度入力すれば次回以降は保存されます。

①スタートメニューからコントロールパネルを開きます。
②「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
③「ネットワークと共有センター」で「ネットワークに接続」をクリックします。
④「ネットワークに接続」画面が表示されるので、一覧から「WINC_c」をクリックし、右下の「接続」をクリックします。
⑤「セキュリティキーまたはパスフレーズ」に所定の暗号化キーを入力して「接続」をクリックします。大文字と小文字は区別されるので注意してください。
⑥「このネットワークを保存します」および「この接続を自動的に開始します」の両方にチェックを入れて「閉じる」をクリックします。
⑦「ネットワークと共有センター」で問題がなければ、接続設定は完了です。

[3] Windows 7 を使用する場合

接続は、Windows XP SP3/Vista に比べて簡略化されています。暗号化キーは、一度入力すれば次回以降は保存されます。
※インキュベーション推進室事務室には、検証可能な環境はありません。ご了承ください。

①画面右下の通知領域に表示されているアンテナマークのアイコン（ワイヤレスネットワーク接続のアイコン）をクリックして、ネットワーク一覧を表示します。
②「WINC_c」をクリックして「接続」をクリックします。
③「ネットワークに接続」画面で、「セキュリティキー」に所定の暗号化キーを入力して「OK」をクリックします。
④接続が成功すると、通知領域のアイコンに何も付かない状態になります。

[4] Macintosh で AirMac を使用する場合

Windows よりも接続は容易です。暗号化キーは、一度入力すれば次回以降は保存されます。
※インキュベーション推進室事務室には、検証可能な環境はありません。ご了承ください。

①メニューバーの「AirMac」アイコンをクリックします。アイコンが表示されない場合は、「システム環境設定」→「ネットワーク」でアイコンを表示するように設定してください。
②「WINC_c」をクリックします。
③「パスワード」欄に所定の暗号化キーを入力し、「このネットワークを記憶」にチェックを入れて「OK」をクリックします。

【ご注意】センター内の無線 LAN サービスでは、暗号化方式に WPA2-PSK を使用しています。これに対応するため、Mac OS で接続する場合は、OS のバージョンは 10.3 以降を、内蔵無線 LAN アダプタは AirMac Extreme をご利用ください。

[5] Linux（Ubuntu 10.40）を使用する場合

Ubuntu は、デスクトップ環境によって差があります。ここでは、接続設定が容易な GNOME 環境を例に説明します。暗号化キーは、一度入力すれば次回以降は保存されます。なお、「RutilT WLAN Manager」を使うと設定がさらに簡単になります。

①右上のワイヤレスネットワークアイコンをクリックし、所定のネットワーク名を選択します。
②認証要求画面が表示されるので、「無線セキュリティ」で「WPA&WPA2 Personal」を選択し、「パスワード」に所定の暗号化キーを入力します。
③次回以降は、右上のワイヤレスネットワークアイコンをクリックして、所定のネットワークを選択して接続します。

印刷もできます！

5. プリンタの利用方法

インキュベーションセンターに設置している無線 LAN 対応レーザープリンタについて、使用方法をご説明します。

インキュベーションセンターでは、主に会員の方を対象に、無線 LAN で接続可能なプリンタ「brother MFC-9840CDW」(カラーレーザー、A4 出力可能) を B 会議室脇に設置しています。

無線 LAN サービスをご利用いただいている方であれば、手続きなどを行う必要なく、どなたでもご利用できますので、お気軽にご利用ください。なお、原稿をスキャンして USB メモリに読み込むこともできますが、その手順はここでは割愛します。

・製品紹介ページ（マニュアル、最新ドライバなどをダウンロードできます）

http://www.brother.co.jp/product/mfc/info/mfc9840cdw/index.htm

（1）準備（ドライバのインストール）

プリンタを利用するには、専用のドライバをインストールする必要があります。プリンタ横に置いている CD-ROM に入っていますが、最新のドライバが上記 Web サイトに公開されているので、これをダウンロードして利用されることをお勧めします。最新ドライバは、Windows XP/Vista/7/2008、Mac OS 10.2 以降、Linux に対応しています。

ドライバは、インストールウィザードに従っていくだけでインストールできます。IP アドレスを打ち込むなどの作業は必要ありません。

（2）印刷

ドライバのインストールが正常に行われていれば、無線 LAN 通信が行われている場合、プリンタ「MFC-9840CDW」が見えていますので、これを選択してご利用ください。

なお、プリンタが正常に動作しない場合は、ファイアウォールで通信がブロックされている可能性があります。この場合は、ポート番号「54925」を開けてください。

6. よくある質問（FAQ）

いざ利用しようとしても、うまくいかない……。そういう場合について、さまざまなパターンを取り上げました。

【サービス利用対象者について】

Ｑ１．誓約書に署名した代表者が交替したのですが、新しい誓約書をもう一度提出する必要がありますか。

Ａ１．入居者または会員としての権利が継続しているかぎり、誓約書の再提出は必要ありません。事業形態が変更になった場合（個人事業から法人化するなど）、入居者名および会員名が変更になった場合、入居や会員などの契約を更新した場合、入居者が退去後に引き続き会員になった場合（およびその逆）も、あらためて提出していただく必要はありません。そのままご利用ください。

Ｑ２．来訪している顧客の PC を無線 LAN で Web に接続させたいのですが、利用できますか。

Ａ２．センターの無線 LAN サービスを利用できるのは、カードキーを貸与されている入居者および会員で、事前に申請登録が完了している人のみです。打ち合わせ先のクライアントなど、第三者はご利用できません。ご了承ください。

【利用する PC および端末について】

Ｑ３．複数台の PC を使い分けていますが、それぞれを無線 LAN に接続することはできますか。

Ａ３．無線 LAN サービスの利用は原則として１ 人１ 台別となっています。また、PC 相互を無線 LAN で接続することもできません。なお、IrDA や Bluetooth などで相互接続することは制限していません。取り外しのできる無線 LAN アダプタ（USB 接続タイプ、PC カードタイプなど）を登録し、このアダプタを複数の PC に差し替えて使うことは可能です。

Ｑ４．PC を買い換えたのですが、無線 LAN は引き続き使えますか。

Ａ４．ご利用できますが、そのままでは通信できません。PC 内蔵の無線 LAN 端末でアクセスしていた場合は、MAC アドレスが変更になっているので、利用届の該当部分を修正のうえ、電子メールで推進室担当者まで電子メールにてお送りください。この際、修正部分を赤字で書いてください。見え消しにする必要はありません。MAC アドレスの登録後、暗号化キー（パスワード）を入力することで通信可能になります。暗号化キーは、推進室事務

所まで直接お申し出ください。

Ｑ５. 登録しているPC のOSを再インストールしました。手続の方法を教えてください。
Ａ５. 端末に変更はないので、届出などの手続きは不要です。ただし、接続環境のバックアップをとっていた場合を除き、PC に保存されていた接続設定が消去されているので、最初に接続する際には暗号化キーを入力する必要があります。暗号化キーは、推進室事務所で直接お申し出ください。

Ｑ６. 会社保有の PC を登録しています。利用者が変更になったのですが、届出は必要ですか。
Ａ６. PC は所有者ベースでなく利用者ベースでの管理となりますので、届出をお願いします。お送りいただいている無線 LAN 利用届の「利用者」欄を赤字でご記入のうえ、電子メールで推進室担当者までお送りください。

【MAC アドレスの登録について】

Ｑ７. Windows のコマンドプロンプトで「' ipconfig' は、内部コマンドまたは外部コマンド、操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして認識されていません。」と表示され、コマンドが通りません。
Ａ７. まれに見られる現象で、Windows のシステムファイルに一部不整合があるようです。この場合は、C:¥Windows¥System32¥にある「ipconfig」ファイルを直接実行してください（カレントディレクトリを C:\Windows\system32 にする）。なお、この症状が出る場合は、重要なファイルのパスが通っていないことが考えられるので、もしほかにもプログラムが実行できないトラブルが発生した場合は、OS の再インストールをお勧めします。

Ｑ８. Windows のコマンドプロンプトで、利用者権限がないという表示が出ます。
Ａ８. スタートメニューのコマンドプロンプトを右クリックして「管理者として実行」をクリックすると、コマンドが実行できるようになります。

Ｑ９. 無線LAN接続に対応したスマートフォン端末をPCに接続してインターネットに接続したいと思います。この場合、登録するMACアドレスは、PC、スマートフォン端末のどちらになりますか。
Ａ９. スマートフォン端末が無線 LAN アダプタの機能を果たしているので、スマートフォン端末の MAC アドレスを登録してください。なお、スマートフォンの 3G 回線（携帯電話の場合）や AIR-EDGE（PHS の場合）を使う場合は、そもそも無線 LAN サービスの利用に該当しないため、手続きは必要ありません。

Ｑ１０．登録するMAC アドレスがわかりません。
Ａ１０．8-10 ページに記載した手順で確認できない場合は、お持ちの PC や無線 LAN アダプタなど、各機器の取扱説明書および保証書などの添付書類をご確認ください。なお、無線 LAN に接続できる機器や OS の種類など、ハードウェアおよびソフトウェアの環境はきわめて多種に及ぶため、MAC アドレスの確認については、事務所では対応できかねます。機器の製造元などへご確認ください。

Ｑ１１．0（ぜろ）とO（オー）、1（いち）とl（エル）の区別がつきません。
Ａ１１．MAC アドレスは自然数を 16 進数 6 桁で表しているため、使われる文字は、0～9 までの数字と、A から F までの英字です。したがって、丸い字があれば 0（ぜろ）、縦棒のような字があれば 1（いち）です。

Ｑ１２．手元の機器では、MAC アドレスの区切り部分が「-」と表示されますが、「:」に直して提出すればよろしいでしょうか。
Ａ１２．どちらの形式でお出しいただいてもけっこうです。

【利用できるサービス内容について】
Ｑ１３．Web サイトの更新（FTP）やブログの更新、CMS の使用はできますか。また「宅ふぁいる便」などのストレージサービスへのアップロードやダウンロード、Evernote などのクラウドクリップサービスなどは利用できますか。
Ａ１３．いずれも可能です。

Ｑ１４．ファイル交換ソフトの利用はできますか。
Ａ１４．Winny、Cabos など、違法なファイル交換を目的として利用されるソフトの利用は禁止します。Bittorrent などで合法的にファイル交換を行う場合は、帯域を大きく占有することになるため、事前に推進室事務所までお申し出ください。

【設定・接続できない】
Ｑ１５．無線 LAN に接続するために設定する方法がわかりません。
Ａ１５．機種や OS によって設定方法はさまざまですので、機種の取扱説明書などを参照してください。暗号化方式は「WPA2-PSK（AEP）」にしてキーを入力すれば大丈夫です。

Ｑ１６．所定の SSID が表示されません、または暗号化キーを選択できません。
Ａ１６．古い端末（Windows なら 2000 時代）の場合、暗号化方式が WPA2-PSK（AEP）に対応していない可能性があります。WPA2-PSK（AEP）に対応している機器を使ってください。WPA2 ノート型 PC の場合は、WPA2（AEP）に対応した無線 LAN アダプタ（USB 接続、カー

ド接続など）を使えば利用できます。

Ｑ１７．WPA2-PSK（AEP）に対応した無線 LAN アダプタを使用していますが、接続できません。
Ａ１７．機種のほか、PC に搭載されている OS のバージョン（Service Pack の適用の有無、言語の違いも含む）によって利用できない場合があります。この場合は、お手数ですが無線 LAN アダプタの供給元に、当該製品がサポートしている OS の環境についてお問い合わせください。

Ｑ１８．SSID、暗号化キーを入力しても接続できません。
Ａ１８．MAC アドレスが正しく登録されていない可能性があります。センター事務所にて登録状況を確認します。登録が完了している場合は、届出たアドレスが間違っている可能性がありますので、手元の届出ファイルを再度ご確認ください。特に、有線 LAN アダプタの MAC アドレスと間違えていないかどうか、ご確認ください。

Ｑ１９．暗号化キーは接続の都度入力する必要があるのですか？
Ａ１９．多くの機種では、いちど設定すれば、接続を切断したりシャットダウンしたりしても、設定は保存されるので、再入力する必要はありません。ただし、推進室事務所にて暗号化キーを変更した場合はリセットが必要になりますので、その際は再設定をお願いします。暗号化キーの変更が行われる場合は、あらかじめ電子メールなどでご案内します。

Ｑ２０．PC を買い直したら接続できなくなりました。どうすればよろしいでしょうか。
Ａ２０．MAC アドレスが変更になっているので、利用届を修正のうえ電子メールで推進室事務所までお送りください（→Ａ４）。

Ｑ２１．早稲田大学のネットワークで利用している PC が無線 LAN で接続できません。
Ａ２１．早稲田大学のネットワークではプロキシサーバを経由してインターネットに接続しているため、これに使用する PC ではプロキシサーバの設定が行われています。プロキシサーバの設定をオフにしてください。
※この項目について対応できない場合は、おそれいりますが早稲田大学 IT センターまでお問い合わせください。

Ｑ２２．早稲田大学のネットワークで利用している PC で、プロキシサーバをオフにしても、無線 LAN で接続できません。
Ａ２２．早稲田大学のネットワークで、固定 IP アドレスにて接続している可能性があります。無線 LAN サービスは IP アドレスを共有してご提供しておりますので、IP アドレスを

自動取得する（DHCP 接続が有効となる）ように設定してください。
※この項目について対応できない場合は、おそれいりますが早稲田大学 IT センターまでお問い合わせください。

Ｑ２３．Web には接続できていますが、共有プリンタ（会議室脇のプリンタ）から出力できません。
Ａ２３．インキュベーション推進室で用意しているもの以外のアクセスポイント（各入居者が独自に設置している無線 LAN アクセスポイント、公衆無線 LAN サービス事業者が提供しているアクセスポイントなど）にアクセスしている可能性があります。接続しているアクセスポイント名を確認してください。

Ｑ２４．以上の各項目をチェックしましたが、それでも Web に接続できません。
Ａ２４．以下の方法を試してください。
①端末にある無線LAN のスイッチはオフになっていませんか？ ノートPC で無線LAN をオフにしたままで接続しようとしても、当然ながら接続できません。スイッチオン／オフの方法については、機器付属のマニュアルをご覧ください。
②ネットワーク接続用のソフトウェア（バッファロー製のユーティリティなど）が入っていると、OS 標準の方法では設定できない場合があります。この場合、当該ネットワーク接続用のソフトウェアで設定してみてください。当該ソフトウェアの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルでご確認ください。
③USB 接続など外付けの無線 LAN アダプタをご利用の場合、アダプタそのものに不具合がある場合があります。Windows の場合、「ipconfig /all」で無線 LAN の部分に「disconnected」と表示されるケースがこれに該当します。この場合は、アダプタの製造元にお問い合わせください。
④接続しようとする途中で通信がアウトになる場合、ネットワーク端末のファームウェアやドライバにエラーがある可能性があります。この場合、ファームウェアを再インストールないしアップデートしてください。

Ｑ２５．POP メールソフト（Outlook、Becky! など）でメールを送信できません。受信、および Web メールからの送受信はできます。
Ａ２５．メールソフトで、SMTP ポートを「587」にしてください。

【通信が途切れる】
Ｑ２６．安定していた通信が急に切れることがあります。
Ａ２６．通信端末の情報をアクセスポイントに書き込む際に、一時的に通信が途切れることがあります。端末情報の登録は、無線 LAN 利用者が極力少ないタイミングで行うよう努

めますが、申し込まれた方のご都合に応じて対処するため、利用中に通信が途切れることもあります。おそれいりますが、あらかじめご了承ください。

Ｑ２７．通信が不安定になることがあります。
Ａ２７．インキュベーション推進室内では複数の無線 LAN が使われていることもあり、時間帯によっては混線により通信が不安定になることがあります。これに対処するため、アクセスポイントを再起動することがあります。おそれいりますが、あらかじめご了承ください。

【基本的なこと】
Ｑ２８．無線 LAN を利用した場合、費用はかかりますか。
Ａ２８．無料でご利用いただけます。また、無線 LAN で通信を行う場合には、利用者から通信事業者への支払が必要となる費用は発生しません。

Ｑ２９．無線 LAN と Wi-Fi は同じ意味でしょうか。
Ａ２９．無線 LAN は、事務所などで通常使われている有線のネットワークを、電波を利用して実現したものです。Wi-Fi とは、この無線LAN に関して実際に実証テストを行い、これをクリアすることで無線 LAN 通信が可能であると認証されることを意味します。したがって、厳密には意味は異なります。「Wi-Fi」＝「無線 LAN で相互接続ができることが認証されている」、「Wi-Fi 認証機器」＝「無線LAN が使えると認証された機器」となります。

Ｑ３０．コミュニティ会員が、１会員につき２台というのは厳しい。もう少し利用可能台数を増やしてほしい。
Ａ３０．インキュベーションセンターで設置している無線 LAN アクセスポイントには、同時に接続できる台数に限界があります。インキュベーションセンターの共用スペースに集合する人数を想定し、支障なくご利用いただける台数として 1 会員 2 台とさせていただきました。接続台数を増やそうとすると、設備に多くの費用が発生するため運用が厳しくなります。ご了承ください。

運用上のルールとお願いです！

7. お願いと注意事項

インキュベーションセンターの無線 LAN サービスの開始にあたって定めたルールと、適正に運用するためのお願いです。

無線 LAN サービスの不正利用を防止し、またセキュリティを確保するため、以下のように運用します。あらかじめご了解ください。

・無線 LAN サービスの適切な利用を図るため、利用者の通信ログを記録いたします。記録したログは、推進室事務局にて不正利用をチェックし、またネットワーク環境を監視するためのみに利用します。外部には公開いたしません。
・無線 LAN サービスの適切な利用を図るため、特定の Web サイトへの接続を遮断するなど、予告なく接続の制限をすることがあります。
・セキュリティを向上させるため、接続に必要となる暗号化キーは随時変更します。また、変更があった場合でも暗号化キーの掲示は行わず、変更があった旨のみを推進室よりご連絡します。ご利用の際には、お手数ですが推進室事務所までお声がけください。
・無線 LAN サービスの利用時間は、原則としてオープンスペースの公開時間と同じ、平日の 9 時から 17 時 15 分までとします。深夜早朝および休日の利用をご希望の場合は、事前に推進室事務所までご相談ください。
・このほか、免責事項と禁止事項があります。詳細は「8.免責事項・禁止事項」をご参照ください。

お申し込みの前に必ずお読みください！

8. 免責事項・禁止事項

インキュベーションセンターの無線LANサービスをご利用されるにあたり、大学の免責事項と、利用者の禁止事項を記載しました。

（１）免責事項

無線 LAN サービスの提供にあたっては、早稲田大学インキュベーション推進室は、サービスの内容、ならびに利用者が無線 LAN サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等につき、いかなる保証も行わないものとします。具体的には、以下のとおりです。

①当無線 LAN サービスの提供、遅滞、変更、中止もしくは廃止、当無線 LAN サービスを通じて登録、提供もしくは収集された利用者の情報の消失、利用者のコンピュータ等のコンピュータウイルス感染等による被害、データの破損、漏洩、その他当無線 LAN に関連して発生した利用者の損害について、インキュベーション推進室は一切の責任を負わないものとします。
②無線 LAN サービス利用者がインターネット上で利用した有料サービスについては、その理由にかかわらず、当該利用者が費用を負担するものとします。
③当無線 LAN への接続に係る機器の設定は、無線 LAN サービス利用者が行うものとします。機器およびソフトウェア等の変更によって、当無線 LAN を利用できない場合があっても、インキュベーション推進室は一切の責任を負わないものとします。
④無線 LAN サービス利用者が当サービスを利用したことにより、他の利用者や第三者との間に生じた紛争等について、インキュベーション推進室は一切の責任を負わないものとします。

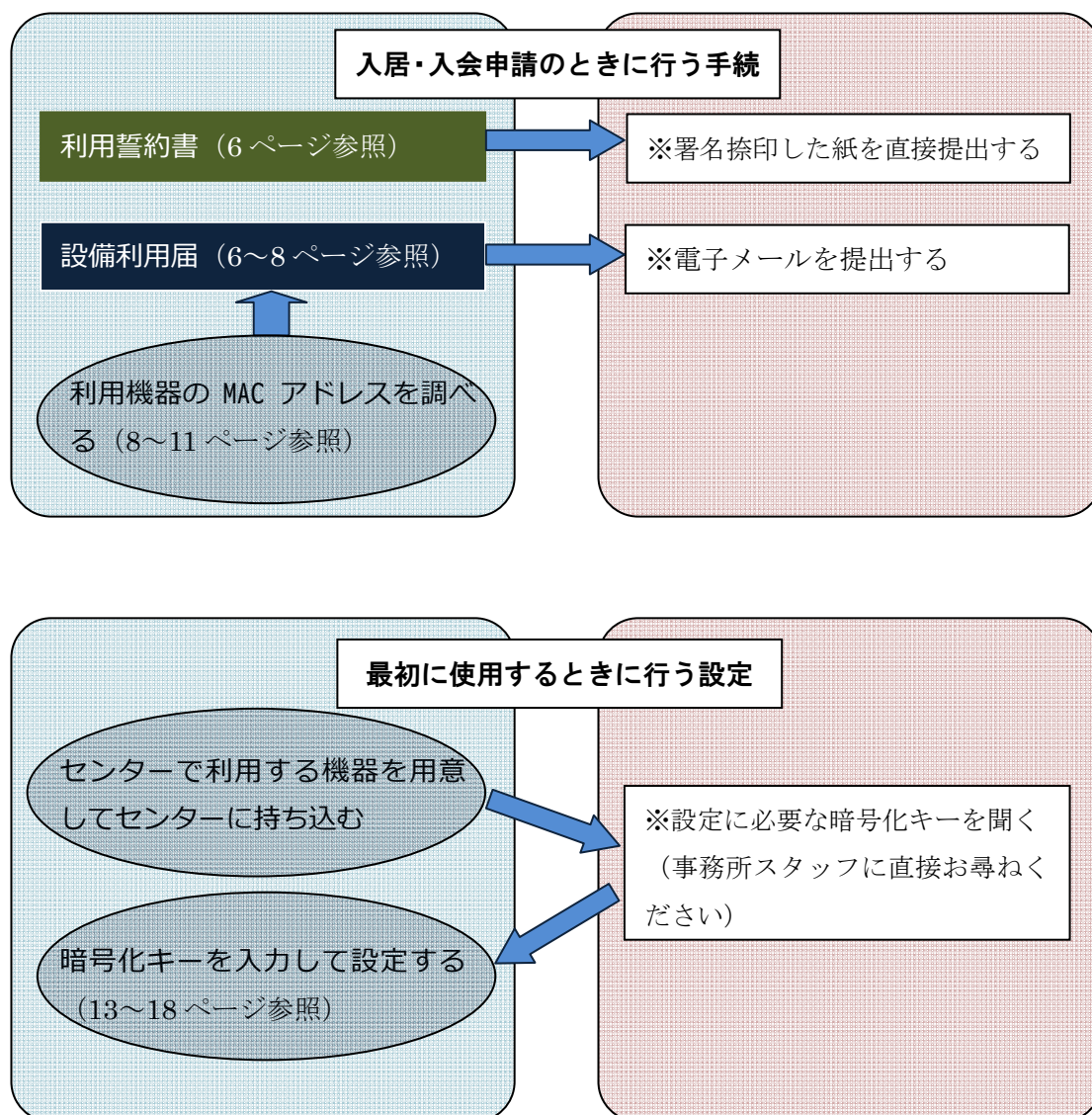
（２）禁止事項

法令に違反する行為、入居および会員に係る規約に抵触する行為のほか、以下の行為は禁止します。これらに抵触した場合、無線 LAN サービスの使用を禁止するほか、施設退去、退会などの処置を執ることがあります。

①利用対象者以外の者が無線 LAN サービスを利用すること。
②届出用紙に虚偽の記載をすること。

③届出ていない通信端末を、センター内無線 LAN サービス接続に使用すること。また、MACアドレスを偽装した通信端末でセンター内無線LANサービス接続に利用すること。
④暗号化キーなど、接続に必要な情報を第三者に教えること。
⑤ファイル交換を目的とした P2P 通信を行うこと。ただし、事前に推進室事務局より許可を受けた場合はこの限りではない。
⑥無線 LAN サービスを利用して、他者の知的財産権を侵害する行為を行うこと。
⑦無線 LAN サービスを利用して、有害なコンピュータプログラム等を送信し、又は他人が受信可能な状態で放置すること。
⑧無線 LAN サービスを利用して、本人の同意を得ることなく不特定多数に大量のメールを送信すること。
⑨無線 LAN サービス接続中の通信端末を放置し、または第三者が利用できる環境にすること。
⑩その他、無線 LAN サービスの利用もしくは運営に支障を与える、又は与えるおそれのある行為をすること。

付　新規入居・入会時に必要な手続きのまとめ

入居者・会員　　　　　**インキュベーション推進室**

お問い合わせ先
早稲田大学 インキュベーション推進室
03-5286-9868（大学内線 78-2101）
inc ＠ list . waseda . jp
担当：渡邉健吾、渡邉謙信
※業務時間：平日 9時～17時15分（早稲田大学所定休日は休業します）
※インキュベーションセンター内における無線LAN サービスの内容については、ITセンターなど早稲田大学他箇所へのお問い合わせは行わないでください。